申請者氏名

＜症例１＞

　65歳男性。約10年前糖尿病を指摘されていた。当初開業医に通院し経口血統降下薬にて治療を受けていたが、血糖コントロール不良が持続し、近くの糖尿病専門病院に教育入院した。その際インスリン治療が開始された。退院後元の開業医でインスリン治療を続けていたが、3年前通院を中断した。最近、全身倦怠感と口渇が出現したため、開業医を再度受診した。経口血糖降下薬にて3ヶ月治療を受けたが、HbA1c9.0%以下に低下しないため、インスリン治療を目的に紹介となった。最近2ヶ月で2kgの体重減少がみられる。受診時、165cm、58kg、血圧167/98mmHg、空腹時血糖197mg/dl、HbA1ｃ9.6%であった。尿糖は（3+）、尿ケトン（―）である。血糖降下薬はメトホルミン、ダパグリフロジン、シタグリプチン服用中である。栄養士から食事指導を受けたことはない。

（生活歴）結婚しておらず一人暮らし。8:30〜17:00電気工事（軽作業）に従事。朝食は食パン1枚とクリームを入れたコーヒー1杯、昼食はコンビニ弁当、夕食は飲酒しながらスーパーで買った惣菜を食べ、ごはんは食べない。アルコールは毎晩ビール350mLと焼酎湯割りコップ3杯であったが、2週間前より焼酎は1杯にしている。喫煙は毎日20本。運動習慣はない。

1. インスリン治療再開以外に、この症例において指導しなければならない点を具体的に述べよ。

＜症例２＞

　9歳、小学4年生の女児。１ヶ月前急に口渇を感じるようになり、近医を受診したところ、随時血糖238mg/dL、HbA1c 11.5%、尿ケトン強陽性を指摘され入院となった。意識は晴明であった。その後の検査で、抗GAD抗体 12.5 U/mL、空腹時血中Cペプチド0.3ng/mL、尿中Cペプチド13.4μg/日と判明した。インスリン頻回注射療法の後、持続皮下注入療法が開始され、退院時には早朝空腹時血糖146mg/dL、HbA1c 8.0%まで低下した。入院中、インスリン注射および血糖測定は自分でできるようになった。身長141.4cm、35.3kg。

1. この症例の糖尿病を成因で分類すると何になるか。
2. この症例の食事療法と運動療法に関して基本的な方針を述べよ。
3. 学校に対して伝えておかなければならない点について述べよ。

＜症例３＞

　78歳男性。40年来2型糖尿病・高血圧の治療を受けてきた。10年ほど前から尿検査で蛋白尿を指摘されるようになり、半年前から、両側下肢の浮腫が出現するようになった。170cm、64kg、血圧165/94mmHg、両側下腿浮腫（＋）。早朝空腹時血糖138mg/dL、HbA1c 7.8%、eGFR 27mL/分/1.73m2、尿糖+、尿蛋白3+、尿アルブミン289mg/gCr。

（生活歴）妻と二人暮らし。午前は家事、午後はテレビや読書で過ごしている。1日3食であり、指導された1800kcal(糖質50%、タンパク質20%、脂質30%、塩分9g)の食事を概ね守っている。アルコールは毎日ビール350mL、タバコは毎日10本程度吸っている。午前午後とも家でテレビを見ていることが多く、週に１-２回妻と一緒に買い物にでかける。内服薬はグリメピリド2mg（朝食後）、 メトホルミン1000mg（２x朝夕食後）、ビルダグリプチン（２x朝夕食後）、カンデサルタン8mg(朝食後)である。

1. この症例の糖尿病性腎症の病期は何期か。
2. 治療に関して変更すべき点があれば、食事療法、運動療法、薬物療法それぞれについて述べよ。

＜症例４＞

　37歳女性。現在妊娠12週である。妊娠10週の時点で、産科にて75g糖負荷試験を受けたところ、前値96mg/dL、60分値 183mg/dL、120分値150mg/dLであり内科に紹介されてきた。これまで大きな病気をしたことはない。母が糖尿病で経口血糖降下薬を服用している。身長158cm、体重56kgで妊娠前から変化なし。血圧112/76mmHg, HbA1c 5.6%。

（生活歴）証券会社で事務をしている。8:15～17:15勤務。朝食は食パン1枚と砂糖・クリームをいれたコーヒー１杯、昼は弁当持参。夕食は自炊している。運動は週1回バレーボールを2時間程度している。

1. この症例の診断は何か。
2. この症例の治療方針について述べよ。

＜症例５＞

58歳男性、以前から会社の検診で、肥満、高血圧を指摘されていたが医療機関を受診したことはなかった。今回、早朝空腹時血糖が112mg/dLと高かったため受診した。初診時、172cm、92.5kg、血圧154/96mmHg、脈拍76/分（整）。診察上、胸腹部には異常を認めず。下肢振動覚、アキレス腱反射正常。検査では、AST 56 U/mL、ALT 45 U/mL、 LDL-C 182 mg/dL、HDL-C 32 mg/dL、TG 265 mg/dL、尿酸9.2mg/dLであった。75gOGTTを施行したところ、前値 106mg/dL(血中インスリン16.7 μU/mL)、30分値 182mg/dL(48.5 μU/mL) 、60分値 243 mg/dL(74.2 μU/mL)、120分値 286mg/dL(86.2μU/mL)であった。

問１．この症例でみられる異常所見を列挙せよ。

1. インスリン分泌指数、HOMA-IRを計算し、その結果についてコメント

を加えよ。